

## ⑫ 公開特許公報(A)

平3-66689

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)3月22日

C 07 D 471/04

1 1 7 N

8829-4C

A 01 N 43/90

1 0 5

8930-4H

C 07 D 471/04

Z

8829-4C※

審査請求 未請求 請求項の数 11 (全29頁)

⑮ 発明の名称 ビリドピリミジン誘導体

⑯ 特 願 平2-201061

⑰ 出 願 平2(1990)7月27日

優先権主張 ⑱1989年7月27日⑳米国(US)㉑385840

⑲ 発 明 者 ロナルド・アービン・ハツクラー アメリカ合衆国インディアナ46226、インディアナポリス、ホークス・ポイント・ロード5234番

⑳ 発 明 者 グレン・フィル・ジョーダン アメリカ合衆国インディアナ46161、モーリスタウン、アール・アール・ナンバー1・ボックス・74ビー(番地の表示なし)

㉑ 出 願 人 イーライ・リリー・アンド・カンパニー アメリカ合衆国46285インディアナ州 インディアナポリス市、リリー・コーポレート・センター(番地の表示なし)

㉒ 代 理 人 弁理士 青山 葆 外1名  
最終頁に続く

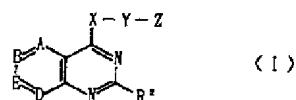
## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ビリドピリミジン誘導体

## 2. 特許請求の範囲

## 1. 式(1):



で示されるビリドピリミジン誘導体、またはその酸付加塩:

[式中、A、B、EおよびDのうち1つまたは2つはN、他はCR<sup>1</sup>であるか、またはA、EおよびDはN、BはCR<sup>1</sup>であり、

R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>はそれぞれ独立してH、ハロゲン、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキル、分枝鎖状(C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>)アルキル、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルコキシ、ハロ(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキル、フェニル、または置換フェニルであり、

XはO、S、SO、SO<sub>2</sub>、NR<sup>3</sup>、またはCR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>(ここに、R<sup>3</sup>はH、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキ

ルまたは(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アシルであり、R<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>はそれぞれ独立してH、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アシル、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキル、(C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>)アルケニルもしくはアルキニル、CN、またはOHであるか、またはR<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>は一緒になって炭素原子数4から6個の炭素環を形成するものである)であり、

Yは、単結合または炭素原子数1から6個のアルキレン鎖であり、アルキレン鎖の場合、これは炭素環を含んでいてもよく、かつ、O、NR<sup>3</sup>、S、SO、SO<sub>2</sub>またはSiR<sup>6</sup>R<sup>7</sup>(ここに、R<sup>6</sup>は前記と同意義であり、R<sup>6</sup>およびR<sup>7</sup>はそれぞれ独立して(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキル、分枝鎖状(C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>)アルキル、フェニル、または置換フェニルである)の中から選ばれるヘテロ原子を含んでいてもよく、さらにこれは(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルキル、(C<sub>1</sub>~C<sub>4</sub>)アルケニルもしくはアルキニル、分枝鎖状(C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>)アルキル、(C<sub>3</sub>~C<sub>6</sub>)シクロアルキルもしくはシクロアルケニル、ハロゲン、ヒドロキシまたはアセチルで置換されていてもよいアルキレン鎖であり、そして